

2025年8月10日
8月第二主日礼拝式



「注がれた愛」

愛する友のために いのちを捨てる
これほど大きな愛があるだろうか
逃(のが)れる道もなく なにかを求めて
わたしがまだ罪の中にいたとき

キリストがわたしのために
いのちを投げだして
その愛を 永遠の愛を
心に注がれた~~~~♪

「わたしたちのこの口は」

わたしたちのこの口は 汚れているけど
どうか主がこれをきよめて
賛美を授(さず)けてください

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

あなたのその御名は いつまでもたたえられましょう
私も主を慕(した)いながら
心ささげて たたえます

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

(主の栄光だけが 光り輝くように)

新聖歌7番 「主のみいつと」

- 1 主のみいつと みさかえとを 声のかぎり たたえて
全き(またき)愛と ひくき心 みざにそなえ ひれふす
- 2 委ねまつる わが重荷を 主はかわりて 負いたもう
悩みおおき よの旅路も 主のいませば 安けし
- 3 喜びもて み前に出(い)でん 貧しき身の ささぐる
愛とまこと 主はよみして みくら近く 召したもう
- 4 やみを変えて 光となす なぐさめぬし とうとし
望みはわき 恐れは消え
みたみの幸(さち) つきせじ

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌373番 「主ひとり」

1 主ひとり ほめられ給え 世人(よびと)に見られ給え

主ひとり 慕(した)われ給え あまねく知られ給え

* われは御手(おんて)の中に 消え去れかし

この身に生きるは キリストなり

【アーメン】

2 主ひとり 慰め与え 涙を拭(ふ)き去り給う

主ひとり 重荷をのぞき 恐れを取り去り給う (*)

3 主ひとり ほかにはあらし この身の頼む神は

主ひとり 「おのれ」の死にし この身を支配し給う *

4 主ひとり わが魂(たま) 支え 力に満たさせ給う

主ひとり わが身と魂の求むる そのものなり (*)

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン